

駒ヶ根民報

No.1368

2016.9.18

日本共産党

駒ヶ根市委員会

Tel 83-2969

9月議会一般質問

竹村ほまれ議員

- ① 当市の財政基金への対応は
- ② 選挙管理、及び開票業務の堅実性は
- ③ 次代を担う若者の政治参加を考える
- ④ 当市の保育士をめぐる処遇と課題、対応は

今号では9月議会の一般質問を紹介します。

本議会は27年度決算を審議する節目の議会に当たり、先ず深刻な財政事情を反映して

① 当市の財政基金の課題。

全国的にも不手際が頻繁した
② 選挙管理、及び開票業務の堅実性の問題。

18歳選挙権が導入されて
③ 次代を担う若者の政治参加を考える課題。

そして、子育て政策でも話題となつて
④ 保育士をめぐる処遇と課題、対応は

竹村ほまれ議員が当市の対応を質しました。



理想とする

財政調整基金残高は

質問 当市は災害復旧財源等一時的な収支バランスの不均衡を避ける財政調整基金が他町村比較でも脆弱だ。標準財政規模等から鑑みて理想とする財政調整基金の考えは。又、財政基盤を確立する為に、公約として強い意志で臨んでいく考えは。

基金全体で

他団体の平均的な水準を

市長 特定の1基金のみではなく基金全体で他団体の平均的な水準を目指す。

この観点から18基金合計で標準財政規模の50%、45億円とする。又、安易に目標等を定めるのは現実的ではない。当面財政調整に用いる3基金合計で毎年度1億円以上増額するよう取り組む。

選挙管理、及び開票業務の堅実性は

質問 全国的にも選挙管理投票に保つる不手際が頻発しており、当市における選挙管理投票においても心配されるが、実態として問題が無かったのか。対応はどうかであったのか。

現行制度維持を要望する

選挙事務局長 比例代表の開票において事務処理の段階で一部に判断誤りがあり開票立会で判定を訂正した。

新たに投票用紙の自動読み取り機を導入したが、予想以上に大量の疑問票が発生し、大量の疑問票を処理する中で判定の確実性を欠いた。又、選挙事務に不慣れた職員増加が判断ミスの一因だった。

一票の重みの指導は

質問 選挙対応の職員に対して一票の重みを重要視する指導や厳正な選挙運営、開票処理の重要性の指導はどのようになされているか。

厳正・公平公正な事項に

対して徹底を図る

選挙事務局長 職員に対しては一票の重み、厳正な選挙、公平公正な選挙といった基本的な事項に対し繰り返し説明し、今後徹底を図る。



学校教育の中で、参政権の認識、選択する能力を

質問 18歳選挙権が導入され、次代を担う若者が、政治に対する参政権を行使する重要性を理解し、自らの考えに基づいて候補者政党等を選択する能力の高まりを醸成するには、どんな教育がされるべきか、必要と考えるか。

社会の構成員の一員として主体的に担う力を

教育委員長 政治の仕組みについて必要な知識と、地域の課題解決を社会の構成員の一員として、主体的に担う力を実際に結び付け、実践的に学び活動を興すという主権者教育の新たな場づくり、教育委員会として今後努めたい。



当市の保育士の

実態と課題は

質問 保育士の非正規嘱託化や、官民格差からくる低賃金身分の割に負担となる責任の重さなど、保育士が安定して長く続かない処遇課題も内在しているのではないか。

当市の保育士正規嘱託の就労環境(処遇平均勤続年数)の実態と抱える課題をどの様に考えているか。

社会的課題はないと考える

市長 当市の保育士の処遇につきましてもは人事院勧告に基づいているため議員からのご質問にあるような処遇などの社会的課題はないものと考えている。嘱託職員の平均勤続年数は3.9年です。



嘱託保育士の平均勤続年数4年未満は！？

ほまれの一言 市長が言うような社会的課題はないとする当市の保育士をめぐる環境は、嘱託職員の平均勤続年数からみても4年と続けられない実態で、これを課題としないのでは、過剰にいい認識なのか疑問です。